

陽の里

発行 令和6年1月1日



社会福祉法人 新生会
総合ケアセンター サンビレッジ
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1501番地
TEL (0585) 45-5545㈹
URL <https://www.sun-village.jp/>



No.158

テーマ

新生病院リニューアルについて



新生病院

社会福祉法人 新生会



名譽理事長 石原美智子

「終戦の翌年、疎開先のこの地で今村勲が開業した「新生病院」も3代目になりました。譲り受けた温知村の結核病棟だった木造から鉄筋に建て替えたのは、私が入職した昭和40年代、そして今年、新しい病院が姿を現したのです。

父は毎晩私の運転する車で往診をしました。その中から介護の必要性を感じ、「サンビレッジ新生苑」が誕生しました。施設長、理事長に就任した私は、全国でも早い時期から在宅サービスを開きました。それは、父の「新生病院」では入院、外来、往診が当たり前の状態でしたから、施設を中心とした方たちにも介護を提供するのは当然と考えたからです。

当時はまだ、措置の時代でしたので、行政から在宅迄やることは行きすぎだと注意を受けながらの挑戦でした。隔世の感があります。

創設者と毎晩夢を語り合った地域の中の医療・福祉が受けられ、住民が安心して人生を全う出来るそんな地域を目指して船出することを嬉しく思います。

人生のどのような状況になつても適切に医療・福祉

「今後の地域医療・福祉への期待」

「新生病院リニューアル」／新病院を目指すもの／

最後に、今回の新病院建設を記念し、新生病院のロゴマークを作成しました。サンビレッジ新生苑と新生病院は兄弟施設であり、現在のサンビレッジ新生苑との密接な連携を図っていきます。

医療法人社団 橘 会 理事長
新生病院 院 長

今 村 明



令和6年1月末に新しい「新生病院」の建設が完成する予定です。引っ越し後の3月1日に開院、令和6年秋に既存の建物を壊してグランドオープンを目指しています。

新生病院は、昭和21年10月1日に温知新生診療所として開設後、現在の本館を昭和43年（1968年）11月に新築しました。55年経過し老朽化のため、今回の一回の建て替えとなります。

現在の病院敷地内での建設により、サンビレッジ新生苑とはより近い立地となり、施設の入所者の方々の健康維持はもとより、急変時での対応等がよりスムーズとなります。今後も新生会及びサンビレッジ新生苑との密接な連携を図っていきます。



新生病院
SHINSEI HOSPITAL SINCE 1946
医療法人社団橘会



者の方々の健康維持はもとより、急変時での対応等がよりスムーズとなります。今後も新生会及びサンビレッジ新生苑との密接な連携を図っていきます。

新しい病院は池田町で唯一の病院であり、揖斐郡内での基幹病院である西濃厚生病院とは異なり、身近な病院としての「かかりつけ病院」の機能を維持しつつ、健診センターを併設します。これにより、住民健診率の低い池田町の健診率の向上を目指すと共に、現在、20数施設を担当している産業医を通じて、関連する企業の健康増進を目指し、「企業のかかりつけ医」としても健康経営に協力すると共に、働く世代の健康維持を目的に予防医学の観点から、地域に貢献していく所存です。

最後に、今回の新病院建設の初代理事長の今村 勲が発案したものです。それに伴い同じ太陽マークを基本に新生病院のカラーである緑色をベースに橘会の橘をアレンジして作成しました。ロゴの共通化により、サンビレッジ新生苑（新生会）とは今後とも協力して、池田町はもとより、揖斐・西濃地域の医療と福祉の維持・発展に貢献していきたいと思いま

「しんせい語録」の読み解き

新生グループには日めくりカレンダー「しんせい語録」があります。

語録には介護現場で感じたことや学んだことへのヒントが掲載されています。



現場に神宿る

新生メディカル岐阜営業所

サービス提供責任者 山本京子

独居のKさんは、嚥下障害があり医師からは胃ろうの勧めもありましたが本人は断固として「やりたくない」と、口から食べることを望まれ、現在は30度の傾斜をつながらベッド上で食事を摂つておられます。時々、薬の飲み忘れがあり、服薬の確認や嚥下体操を一緒に行うことを目的としてヘルパーが訪問していました。

食事の用意など、生活全般のことはご自身で行えていたのですが、急に日中眠ることが増え、食事量が減つたり時間の感覚が曖昧になりました。夜中に食事を摂つていることもありました。急激な認知機能低下で今までできていた事が出来なくなつきました。

「急にどうしたんだろう?」「なんか最近、Kさんおかしいよね」と、日々訪問しているヘルパーはその変化に気付きました。「もしかして認知症の薬が増えてきたからかな?」受診時にヘルパーから主治医に相談し、薬の整理もできました。



vol.39

「サンビレッジの仲間たち」

サンビレッジ新生苑 今村勲記念館 介護職員 足立健氏

私は、サンビレッジ新生苑 今村勲記念館で、入所者の方々の生活を支えるお手伝いをしています。今年、5月から7月までの3ヶ月間、育児休業を取得させていただきました。

男性の育児休業取得率は国の統計で約17%とまだまだ低いそうですが、初めての子供が生まれたこともあります、「短い時間であっても、育児に関わりたい」という思いがありました。また、妻が産後の期間を家で過ごすのをサポートしたいと思いながら、育児休業を選びました。取得に最初は不安で、悩みましたが、上司に相談すると快くサポートしてくれました。仲間たちにも事情を話すと理解してくれ、温かい言葉で応援してもらいました。

育児休業を取得する際、一緒に働く仲間への感謝と同時に、家庭を持ちながら頑張っている仲間たちへの理解が深りました。将来、同じように育児休業を考えている仲間がいたら、経験を共有し、応援したいと思います。この職場では、仲間たちの支えのもとで働くことができ、充実した毎日を送っています。

これからも、様々な調整をしながら、前向きな気持ちで仕事に取り組んでいきます。お互いにサポートし合い、心温まる職場環境を築いていけると思っています。





ほづみ駅前 「サンマルシェ」

サンビレッジほづみ駅前「サンマルシェ」10月21・22日（土・日）開催しました。

「明るい地域づくり」を目的に、地域の方々にお越しいただきました。



もやい市橋 駄菓子屋さん～特別企画～

毎週土曜日13時～開催の駄菓子屋さんで「特別企画」で「みんなでスライム作りをしよう♪」と開催。いつも駄菓子を買いに来てくれる子供達が集まり、スライム作りに挑戦しました。



サンビ校

「嚥下食ピュッフェ」

先日、リハビリセンター白鳥の特養で嚥下食デザートピュッフェを行いました。利用者にも喜んでもらえ、学生も嬉しく学びの多い時間となりました。来年も様々な部署のお力も借りながら継続したい企画です！



ひんせいかい 令和5年度事例報告会 ハイブリッド開催



法人選抜5事例と姉妹施設より3事例（きらくえん・北養会・うねび会）の発表がありました。



長く機関紙発行に関わらせて頂きましたが、次へ引き継ぎ今号で機関紙委員の卒業となりました。一読頂いています皆様、発行に関わって頂けた関係者の方々へ心よりお礼申し上げます。

大橋 孝博（写真前列中央）

ぎふ

岐阜シティタワー16周年記念講座 木育&食育 共育ひろば



午前は、木製アクセサリー作り、午後は、10組の親子が手打ちうどん作りに挑戦！

楽しく、美味しく、出来ました（^ ^）

脳活リハもやい もやいの家津村から 脳活リハもやいへ



もやいの家津村は脳活リハもやいへとリニューアルします。

脳活、運動をふんだんに取り入れ、認知症予防を推進します。

ひろさり



3年ぶりの陽の里まつり開催。利用者さん、家族、職員みんなでお祭りを楽しめました。今年の白鳥はSDGsについて考えました。その一つとして新聞紙を活用したゴミ箱作りを取り組んでおり、その事を地域の皆さんにも知ってもらえる機会となりました。

もやいみずほ



みずほおれんち

ぶろじぇくと2023

「認知症になってしまって安心して暮らせる地域づくり」をRUN伴から「おれんじぶろじぇくと」として生まれ変わり開催。穂積駅エキサイトサードプレイスからサンコーパレットパークまでタスキを繋ぐランナーとして参加しました。